

防災委員会活動報告書

平成 28 年度

支部名		担当者名	雨森 隆子・東 二郎
平成28年度災害時住宅対策検討部会 災害時の応急仮設住宅供給に係る訓練			
1. 研修会概要			
・日時	平成28年7月20日(水) 9:30~16:30		
・会場	神奈川県自治会館 3階会議室		
・参加人数	42名(県下市町村、全国木造建設事業協会、神奈川県建築士事務所協会、神奈川県建築士会、プレハブ建築協会)		
・費用			
2. 内容について			
神奈川県公共住宅供給推進協議会主催の平成28年度災害時住宅対策検討部会に出席し、[第1部]定例会会において、神奈川県建築士会防災委員会の活動及び、災害時住宅対策に係る取り組みについて発表を行った。			
[第2部]訓練 確認事項			
(1) 応急仮設住宅の供給のための準備・体制について			
(2) 配置計画作成にあたっての準備・留意点についてプレハブ建築協会、神奈川県建築士事務所協会より説明があった。			
その後休憩をはさんでグループに分かれて演習に参加した。			
下記は、グループ演習の概要である			
○ 各グループが一つの市町村の立場で、県の対応方針を踏まえた上で、市町村としての応急仮設住宅の設置方針協議案を作成する			
○ 被害状況を勘案し、応急仮設住宅の必要個数を算出し、県に報告する			
○ 敷地決定の際の確認項目を検討するとともに、特定の敷地に対する住戸タイプごとの個数を算出する			
○ 応急仮設住宅の配置計画作成に当たりコミュニティの形成等に配慮した提案を行う			
以上を基にした設問の6問に対してグループ毎に回答した根拠を発表し合うもので、それぞれの考え方が述べられ、また設問回答時間、議論する時間もあり、疑似体験ではあるが、緊迫感のある訓練が出来ました。			
3. 質疑応答			
4. 良かった点			
設定条件として実際に即した条件が効果的であったと思いました。			
来年は、また別の方に参加頂き、是非、体験頂きたい訓練でありました。			
5. 総評			
県の羽鳥さんより、今回の部会を通じてそれぞれの団体が、災害時にどのように動くのかが、把握できて良かったとの事でした。			